

平成28年度施策評価調査書

整理番号	12
評価担当課	市民部環境生活課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	生活安全意識の高揚(3-6-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしくて快適で安心なまちづくり
	主要施策	6	生活安全

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	犯罪のない安全で安心して暮らせるまちを目指し、市民の安全を確保するため、関係機関・団体との連携を密にし適切な情報の提供及び防犯体制の強化と地域ぐるみの防犯活動を進める必要があります。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	関係機関・団体等との会議開催、「子ども110番の家」設置、青色回転灯装着車の設置 公用車で街頭パトロール、市のホームページに不審者情報の掲載等を実施している。
施策の課題	犯罪のない安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して、関係機関・団体とともに防犯活動をしていかなければなりません。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度 (年度)
情報の収集及び提供	安全安心地域づくり推進協議会及び安全安心円卓会議開催状況(各1回)	目標値	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	
		進捗率	100%	100%	100%	
関係団体との連携強化	関係機関の活動補助金 (単位:千円)	目標値				1,740
		実績値	1,740	1,740	1,740	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	名寄市安全安心地域づくり推進協議会は年1回から2回、安全安心円卓会議は年1回開催しており情報交換を行うとともに、関係団体との連携及び支援を実施することにより、防犯活動を推進している。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

関係機関及び各小学校区で設置された安心安全会議との連携により、各地区の見守りや青色回転灯装着車でのパトロール、子供110番の家の設置など今後とも取り組む必要があります。また、関係団体への支援も継続する必要があります。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	情報の収集・提供	警察署、学校、教育委員会、防犯協会など情報の収集、ホームページに掲載	2,045	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	12	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	市民部生活環境課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	情報の収集・提供			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしい快適で安全で安心なまちづくり
		主要施策	6	生活安全
		基本事業	1	生活安全意識の高揚
		実施計画事業	1	情報の収集・提供

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	犯罪のない安全で安心して暮らせるまちをめざし、市民の安全を確保する。			
対象(何を又は誰を)	子どもから高齢者、全市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	名寄市安全安心地域づくり推進協議会や小学校区単位で組織されている安全安心会議、さらには各防犯協会と連携し、各地域の現状を情報交換により把握、分析する等、防犯体制の強化に向け対策等を協議している。また名寄地区暴力追放運動推進協議会とも連携し、地域住民の協力を得ながら、市民の防犯意識の高揚と地域社会の連携強化に努めてきた。			
意図(どのような成果を期待しているか)	犯罪のない安全で安心な市民生活を旨とする。			
事業実施主体	名寄市、名寄地区防犯協会連合会、名寄地区暴力追放運動推進協議会			
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市犯罪のない安全で安心な地域づくり条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位					目標年度 (年度)
			H25	H26	H27	H28見込	
活動指標	1 安全安心地域づくり推進協議会の開催 安全安心円卓会議の開催	回	目標				
			実績	各1	各1	各1	各1
	2 名寄地区防犯協会連合会補助金	千円	目標				
			実績	1,540	1,540	1,540	1,540
	3 名寄地区暴力追放運動推進協議会負担金	千円	目標				
			実績	200	200	200	200
成果指標	1		目標				
			実績				
	2		目標				
			実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	2,708	1,992	2,045	2,066	報酬 44千円
国道支出金					旅費 84千円
地方債					需用費 177千円
その他					負担金補助及び交付金 1,740千円
一般財源	2,708	1,992	2,045	2,066	合計 2,045千円
人件費	1,337	1,326	1,298	1,249	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	4,045	3,318	3,343	3,315	
対前年比(%)	—	82	101	99	コストの算出方法
事業コスト					
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、名寄市犯罪のない安全で安心な地域づくり条例に基づき、犯罪のない安全で安心な地域づくりを総合的かつ計画的に推進するもので、市の責務として実施することになっている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	安全安心地域づくり協議会及び安全安心円卓会議は、各関係機関・団体からの関係者で構成され、情報交換の場として有効である。各種防犯対策、防犯団体への支援も必要なことと考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	関係団体への補助を行うことにより、多くの地域住民の協力を得ながら、防犯意識の高揚が図られる事から今後とも必要な取組である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	防犯協会、暴力追放運動推進協議会とも全市民的な活動を展開しており偏りはない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	名寄市安全安心地域づくり推進協議会は年1回から2回、安全安心円卓会議は年1回開催しており情報交換の場として有効です。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	犯罪のない安全で安心な地域づくりを目指して情報交換、各団体への支援を継続していかなければならない。	
A: 現状のまま継続 B: 進め方を改善 C: 規模・内容を見直し D: 抜本的な見直し (廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり